



発行：栃木市教育委員会
住所：栃木市万町9-25
電話：0282-21-2467
FAX：0282-21-2689
Email：kyoumu@city.tochigi.lg.jp



栃木市教育祭

平成30年12月15日から17日まで、栃木文化会館で栃木市教育祭を行いました。多くの皆様にご参加いただき、ありがとうございました。17日の式典では、記念アトラクションとして、小野寺北小学校の全児童が一輪車の演技を披露しました。ディズニー映画などの音楽に合わせて、子どもたちは張り切って演技をしていました。

詳しい教育祭の内容は、3ページで紹介しています。

栃木市教育のスローガン

「ふるさとの風土で育む 人づくり・まちづくり」

～とちぎ未来アシストネットの推進～

「とちぎ未来アシストネット」とは、学校・家庭・地域の連携により、地域ぐるみで子どもたちの「生きる力」を育むとともに「地域の活性化」を図る本市独自の教育システムです。



栃木市教育ニュース



栃木市教育委員会では、生涯学習を基盤とした社会の構築を目指して、本市ならではの教育を推進しています。今号の『栃木市教育ニュース』では、学校施設関連の話題を市民の皆様にお知らせします。

学校施設課の日々の業務として、学校管理部門では、学校運営に必要な設備機器類、例えばエレベーター・受変電設備（キュービクル）・火災報知機・浄化槽・受水槽の点検業務委託契約を行い、それぞれの管理を行っています。また、校庭の高木管理、児童生徒の通学のためのスクールバスの運行、緊急時に迅速に対応するための緊急メール配信事業など、安全で安心な教育環境を保つための業務を行っています。

施設営繕部門では、トイレの詰まり・漏水等水回りの不具合から、窓ガラスの割れや雨漏り、照明器具の不点灯まで大小さまざまな修繕依頼が44校の小中学校から毎日3～4件あり、対応しています。



ICT機器推進事業

近年の情報技術は急速に進展しており、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化しています。2020年度には、小学校で、翌年には中学校で、プログラミング教育が必修化されます。

本市では、計画的に学校のICT機器の更新・導入を行っています。より一層ICT機器を活用した授業が展開できるよう、今後、パソコン教室のパソコンを画面が取り外すことのできる「タブレットPC」へ変更し、パソコン教室以外の場所でも活用できる環境を整えます。

電子黒板やデジタル教科書などのICT機器は、子どもたちにとって「おもちゃ」に見えるのか。モニターを見つめる目はキラキラし、ニコニコしながらタブレットを操作する。

得意な子ばかりではないだろうが、みんなで楽しく使ってほしい。「おもちゃ」は世界中の人々とつながる道具となり、未来の生活をより豊かにするものだから。（福島 鉄典 教育委員）

洋式トイレ改修事業

平成26年度より始まった小学校の洋式トイレ改修事業が12月末に終了しました。老朽化の進んだトイレの給排水管を含めた改修を行い、便器も洋式となり、明るく快適なトイレ空間となりました。

来年度から中学校の洋式トイレ改修事業に着手する予定です。



50年前の学校トイレは、下から手が出てきそうな汲み取り式でした。そのあと時代とともに、また目立つことなく材質や形、様式が変わってきました。2022年度を目標に、栃木市立小中学校すべてで洋式化トイレとなるよう取り組んでいきます。手が出てくる代わりに音消しの音が、すきま風の代わりに落ち着いた個室が、不安のない学校生活をサポートする予定です。（林 慶仁 教育委員）

栃木市学校施設長寿命化計画

子どもたちが安心して学ぶことができる教育環境を確保するため、2020年度を目途に中長期的な視点に立った施設の維持管理や整備に向け、「栃木市学校施設長寿命化計画」を策定します。



教育委員の活動日誌



教育委員は、栃木市の「教育の充実」のため、毎月の定例教育委員会をはじめ、様々な活動に積極的に取り組んでいます。『教育委員の活動日誌』では、その一部を紹介します！

表紙でも紹介したとおり、今年も栃木市教育祭を行いました。教育祭は戦後まもなく市の高校の有志の先生により発案され、70年以上続いています。

期間中は児童生徒たちの絵画や書道作品、広島平和記念式典に派遣された中学生の活動、高校生の研究活動の報告等を展示しました。また、式典では教育功労者や善行功労児童生徒などの表彰が行われました。



市長による来賓あいさつ



教育長による主催者代表あいさつ

毎年、栃木市文化会館を会場に開催される教育祭は「栃木市の教育を広く市民に知ってほしい」という先人たちの思いを受け継ぐ行事です。児童生徒のすばらしい作品が展示されていたり、学校教育を支える力となっている地域の人たちが表彰されたりと多彩なイベントが行われ、元気な栃木市を感じることができる場にもなっています。これからも『教育第一』の精神で続いていってほしいと思います。

(荒川 律 教育委員)



小野寺北小児童による一輪車演技



児童生徒の作品展示



児童生徒の表彰

今年の教育祭は、式典の前に小野寺北小学校の全児童による一輪車の演技が行われました。

一生懸命に演技をしている姿が、とても微笑ましくて感動しました。

児童・生徒のご家族の方たちもたくさん見に来ていただいていたありがとうございました。

(若林 由美子 教育委員)

子どもたちの一輪車の楽しく見事なアトラクションに始まり、模範的な児童・生徒の表彰。どの顔も緊張しながらもちょっと誇らしく立派でした。

展示物も小学生から高校生までと幅広く、子どもの成長を喜ばしく思います。ご家族の方もぜひご覧になっていただきたいと思います。

(西脇 はるみ 教育委員)



部活動を改善します



ポイント

- ・方針の策定（平成30年度末予定）
1週間で平日は1日、休日は1日以上を休養日にする。
1日の活動は平日2時間程度、休日及び長期休業中は3時間程度にする。
- ・部活動指導員の導入

中学校における部活動は、学校教育の一環としてスポーツや文化、科学等に親しませ、生徒の資質、能力の育成を図るものとして行われています。しかし、行き過ぎた活動による疲労の蓄積や教職員の多忙化が問題となっています。

本市においても、部活動の在り方について調査検討を行いました。その結果、ルール作り（市の方針の策定）や、外部人材の活用（顧問の先生と同程度の指導・引率ができる部活動指導員の導入）を進めることにしました。

充実した部活動のためには、学校だけでなく、抱え込むのではなく、保護者や地域の皆様と連携していくことが大切です。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

本市の成人式に参列する度に思うことがあります。中学三年間で培った絆の強さです。そのほとんどが部活動での体験から得たものだと言います。私自身もブラスバンド部で出会った友は、現在でも大事な友人です。

今、学校業務の適正化の流れの中で、部活動による教職員の負担増が社会問題になっています。学校教育の一環として位置付けている部活動の意義は大きいものがあります。充実した部活動推進のためには、単一校だけで解決できる問題ではありません。地域や保護者の皆様と一層連携強化をしていくことが解決の糸口になるとの考えのもと、本市では様々な改善策を講じています。全ては、充実した中学校生活の実現のためにです。

（後藤 正人 教育長職務代理者）

教育長通信 ～「自然は急がない」～



「おはようございます。」市庁舎4階奥手にある執務室に足を踏み入ると、毎朝決まって行くことがあります。西向きの窓のブラインドを開け、やや北寄りの方向に見える山に向かってあいさつをすること。そして「今日も一日、よろしくお願いします。」と念じることです。その山の名は、三峰山。標高605mの、栃木市で一番高いと言われる山です。その特徴的な形状から、見る方向によっては「鍋山」とも、また「ぞう山」との愛称で呼ばれることもあります。遠く日光連山を一望できる見事な景観の中にあっても、その山は、他の追従を許さぬ気品と存在感を放って見る者の心をとらえます。

私とこの山との出会いは、かれこれ8年前。新任校長として寺尾地区の中学校に赴任したときのことで。初めての勤務地でもあり、新米校長とあって不安と緊張を抱えながら国道293を越え、学校に向かう新道を上っていたとき。なだらかなカーブを曲がると、丸みを帯びたどっしりとした三峰山が目前に現れました。その何とも言えぬ慈愛に満ちた姿に、体の芯からじわっと熱いものがこみ上げてきたことを、今でもはっきり覚えています。その後も幾度となく、何かに行き詰まったり、思いあぐねたとき、校舎の屋上に登っては目前にそびえるその山に問いかけたものです。「どうしたらいい？」しばらくすると、その山は無言の説得力を以って必ず答えを返してくれました。「自然は急がない…」正に、本市がその理念を教育の根幹に据えている、名誉市民山本有三先生が残された言葉の一つです。

**自然は命令しない 自然は急がない
だが、一秒たりともなまけてはいない**

今、4階の窓越しに遙かに三峰山を望みながら、改めてこの教えをかみしめています。 教育長 青木 千津子

【編集後記】

“教育委員会だより 絆”は市民の皆様へ、教育への関心を一層高めてもらうため、‘開かれた教育委員会’としての活動を「分かりやすく」「親しみやすく」紹介していきます。

※ご意見・ご感想は
こちらまでお寄せください。

栃木市教育委員会教育総務課 〒328-8686 栃木市万町9-25
電話：0282-21-2467 FAX：0282-21-2689 Email：kyoumu@city.tochigi.lg.jp